観光立国の実現は、地方（地域）から

観光関連団体からの新年あいさつ

訪日客呼び戻しへ尽力

日本政府観光局（JNTO）理事長　**松山　良一**

源に恵まれた国ですが、より統一感とインパクトのあるブランド戦略が大事であると感じています。全国各地の多彩な日本食や温泉並びに多様な観光文化魅力を厳選し、クールジャパンやおもてなしなどのソフト面も強調しつつ、系統立てた新しい日本のイメージと強いメッセージを打ち出し、日本へ旅行したくなるような動機付けを強化してまいりたいとも考えています。

2012年は、日中国交正常化40周年、日米桜寄贈100周年に当たり、また、大型の国際会議が続々日本で開催されるなどの明るい話題もあり、日本の政府観光局として、広く関係省庁、地方自治体、業界団体、民間部門などとの官民連携の下、安全・安心な旅行先としての日本の信頼を取り戻すべく、正確な情報をタイムリーに発信し続けるとともに、市場特性やニーズを踏まえた本格的なプロモーション活動の展開など、オールジャパンでの取り組みを拡充強化してまいる所存ですので、本年も皆さまのお力添えを宜しくお願い申し上げます。

訪日旅行を取り巻く環境は、東日本大震災の影響はもとより、歴史的な超円高や世界経済の低迷による先行き不透明な中、国際的な誘致競争は益々激化して厳しさを増しています。

こうした逆境からのスタートとなる2012年ですが、インバウンド・ツーリズムは雇用の創出や地域経済の活性化に資する成長戦略の重要な柱の1つでもあり、JNTOはその振興を担う公的な専門機関として、国が進めるビジット・ジャパン事業で中核的な役割を担いつつ最大限の貢献をすべく、世界13箇所の海外事務所ネットワークを活かし、役職員一丸となって気持ちを新たに、たゆまぬ努力を継続します。

特に、震災以降落ち込んでいる訪日旅行者数を1日も早く震災前の水準へ回復させ、さらに2010年の過去最高値を上回る訪日外客を呼び戻すことを目指して、尽力してまいりたいと存じます。

日本は、豊富な観光資れてもらえるよう、引き続き努力する必要があります。

そのための大きな機会として、今年4月には、東京と仙台で世界の観光業界のトップが参加する世界観光サミットが開催されます。是非とも、この機会を通じて日本の安全性と観光魅力が世界の方々に認識され、外国人観光客の訪日が再び成長軌道に戻るよう、また、東北の復興に寄与するよう期待しているところであります。観光関係者の皆さまの多数のご参加をお願いしたいと考えております。

国内観光についても、日本のすべての地域が以前と同じように、またそれ以上に観光客で賑わうようになることが重要であります。昨年は、東北新幹線と九州新幹線の全線開業や平泉と小笠原の世界遺産登録といった明るい出来事がありました。また、家族旅行やボランティアツアーなど人と人のつながりを大事にする旅行への関心が高まりました。このようなことを契機に、今年は、観光による交流がますます盛んになることを願っております。

本年が観光の飛躍の年となりますことを皆さまとともに祈念しまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

世界サミットで復興に寄与

日本観光振興協会会長　**西田　厚聰**

昨年、わが国は、東日本大震災により大きな被害を受けました。新しい年を迎えましたが、今なお避難を余儀なくされている方々をはじめ多くの被災者の皆さまにあらためて心からお見舞いを申し上げます。また、被災地の1日も早い復興を願ってやみません。

震災以来、全国の多くの地域で観光客が激減し、厳しい状況が続きました。官民をあげた努力により状況は改善してきましたが、まだ本格的な回復には至っていません。今年も、震災による影響からの完全な脱却に向けて、全力で取り組んでいくことが最大の課題であります。

日本観光振興協会としましても、関係業界、各地域の皆さまと力を合わせて、引き続き、日本の観光の再生と力強い発展に向けて全力を挙げていく決意であります。

震災により最も大きな影響を受けた外国人観光客については、震災直後の大きな落ち込みからかなり回復し、一昨年の水準に近づいてきましたが、わが国の安全性が世界の人々に正しく理解され、安心してわが国を訪

観光振興で日本を元気に

日本添乗サービス協会会長　**山田　隆英**

昨年は、地震による津波や原発事故が重なり観光も、今まで経験したことがないほど大きなダメージを受けました。観光振興により1日も早く日本中が元気を取り戻し平穏な年となりますよう年頭に当たり祈念いたします。

さて、協会は昨年、設立25周年を迎え記念図書『地球まるごと私の仕事場』を出版いたしました。非常に高い能力、知識、専門性を駆使し、価値有る感動の旅を提供するために日々努力している添乗プロフェッショナルのリアルな姿をアピールし、職業としてのやり甲斐を若い方々にも分かりやすく説いた就活にも役立つ内容になっている一方、旅のプロ400人のアンケートを基にお勧めの観光スポット、ホテル、世界一美しい夕景などを紹介し、旅行を企画する上で役立つデータが満載されています。

近頃、頻繁に起こる地震、大津波、洪水、火山噴火などの自然災害に加え、テロ、暴動、内乱、反政府デモなど不穏な出来事に巻き込まれないよう気を配り、高度な危機管理能力が求められる添乗専門職は、以前にも増して責任も重く重要になってきています。

協会は、ツアーコンダクターの育成に努め、優れた人材を安定的に供給することにより旅行の価値を高め観光産業の発展に寄与してまいる所存です。

四半世紀を経た今、一般社団法人への移行手続き作業に取り掛かっておりますが、新しい時代が求める協会として何を成すべきか原点に戻り新たな四半世紀に向けて新たなニーズにこたえると共に、ツアーコンダクターの社会的地位の向上を目指し事業を推進してまいります。

本年もご指導のほどよろしくお願い申しあげます。

消費者の求め、本質見抜け

日本旅行業協会会長　**金井　耿**

昨年の旅行業界は当初順調なスタートを切ることができました。ところが3月に発生した東日本大震災は東北地方を中心に大きな被害をもたらし、原子力発電所の放射能漏れも重なり、旅行の取消も相次ぐなど、旅行需要に大きな影響を及ぼしました。

JATAは震災発生後すぐに復興プロジェクトワーキンググループを立ち上げ、4月15日には会員旅行会社の総意で「東日本大震災からの復興に向けた宣言」を発表。宣言に基づく施策を確実に実行してまいりました。この宣言をターニングポイントに旅行業界挙げて需要回復に努めた結果、7月には海外出国者数が、8月には主要旅行業者の国内旅行、海外旅行の取扱額が単月で前年を上回る回復を見せ、改めて旅行が消費者から求められていることを実感できました。

本年は日中国交正常化40周年、日米桜寄贈100周年、ロンドン五輪、麗水国際博覧会（韓国）、東京スカイツリーのグランドオープンなど国内外で出来事が多い年です。航空業界ではLCCのPeach Aviation、エアアジア・ジャパン、ジェットスター・ジャパンが就航するなど大きな変化があります。その一方、海外では昨年起こったアラブの春による政情の不安定化、EU諸国の経済財政問題の世界経済への波及など不透明さが増しています。昨年からの円高傾向は、海外旅行者には有利であるものの、輸出を中心とした国内産業への影響も大きく、過度の円高は経済に悪影響となりかねない状況です。

先行き不透明な中、旅行業界は常に何らかのアクシデントが起こりうることを覚悟して事業を行わなければなりません。

観光起点の復興へ重要な年

全国旅行業協会会長　**二階　俊博**

昨年は、東日本大震災の発生により我が国経済は甚大な影響を受け、景気の低迷の中で旅行業界も厳しい年となりました。9月の紀伊半島の災害もようやくJR紀勢線が全線復旧し、復興に向けた取り組みが懸命に進められております。

今回の震災からの「日本の再生」を図るためには、観光の振興によって地域経済を活性化させることも極めて重要です。このため、私たちは、昨年9月に宮城県仙台市で「東日本復興支援会議」を開催し、全会員一丸となって風評被害の払拭と東日本地域への送客支援などに取り組むことを決議しました。その後も、復興支援のためのポスター、カレンダーを作成して全会員及び関係行政機関・団体などに掲示をお願いし、また、観光庁と共に、昨年11月から本年10月までの1年間、「東北・東日本観光復興支援キャンペーン」を展開しております。さらに、紀伊半島の災害について、復旧情報の発信、来訪呼びかけを図るための「元気になって紀州」ポスターの作成などの取り組みも実施しております。

2008年5月に発生した中国四川省の大地震の際も「復興は観光振興から…」が合言葉でした。我が国が将来とも夢のある国であり続けるためには、本年は極めて重要な年になると思います。

国際関係においては、5月に「韓国麗水世界博覧会」が開幕し、また、「日中国交正常化40周年記念事業」が年間を通じて各地で展開される予定です。日中間の姉妹都市交流などを活用して大いに成功させたいものです。日本の受け入れ態勢を整えて、「日・中・韓のトライアングル」で緊密に連携して観光交流を一層活発化していくことが大切です。

観光が明るくなれば、世の中は必ず明るくなります。これまで培ってきた旅行業界の長年の経験と英知を結集して、全国5600社の会員が一体となって力を発揮し、観光産業の発展に努めたいと存じます。

12年の皆さまのご繁栄とご多幸を祈念し、年頭のごあいさつといたします。

龍のごとく「昇」年に

JTB旅ホ連会長　**福田　朋英**

昨年は3・11という未曾有の大震災があり、その後の原発問題、台風12号など、自然の驚異に打ちひしがれた年でした。いまだ避難生活を余儀なくされている方々をはじめ、被災者の皆さま方にはあらためて心よりお見舞い申し上げます。

私共宿泊事業者を取り巻く環境も3・11を境に激変しました。震災直後は「先がまったく見えない」状況で不安ばかりでしたが、4月15日の東京ディズニーランドの開園や4月28日の東北新幹線の開通が契機となり、応援消費の機運の広がりとともに6月頃からは想定を上回るスピードで回復した感があります。ただし、被災地の東北や隣接する茨城、栃木、とりわけ原発問題が尾を引く福島は、一部の復興特需を除けば極めて厳しい状況が続いておりますので、これらの地域につきましては、今年も意識して応援させて頂く必要があると思っております。

さて、JTB旅ホ連と致しましては、12年も宿泊増売を最重点課題に据え、JTBグループ各社と連携して引き続き、取り組んでまいります。

基本方針は「活発な支部活動、元気な地域づくり」とし、「宿泊増売」「人財育成」「組織の安定・強化」を3本柱として事業を推進致します。

宿泊増売につきましては、支部（幹事支店）、地域事業会社、国内商品事業部（仕入販売部）との三位一体の連携を一層強化し、「地域主体」で宿泊増売事業を推進してまいります。人財育成につきましては、旅館経営人財育成アカデミーの事業を通じて、次期経営者層の育成に焦点を当てた取り組みを強化致します。また、「日本の宿おもてなし検定」につきましては、旅館3団体とともに受験者、受験施設数の拡大を目指してまいります。組織の安定・強化につきましては、11年度に設置した「中期課題検討推進プロジェクト」の答申を受け、将来を見据えた旅ホ連の構造改革を進めてまいります。

最後になりますが、今年は辰年、私の干支でございます。今年こそ、龍のごとく、力強く「上昇」する年にしたいと願っております。

本年も関係の皆さま方のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

台湾・北投温泉に
日勝生 加賀屋

台湾でも、加賀屋の流儀。
加賀屋が長年培った真心の"おもてなし"を
台湾でお愉しみいただけます。
また、お風呂は全室北投温泉
「源泉かけ流し」となっております。
◎お問い合わせは
Tel.0767-62-4111
加賀屋予約センター
能登半島・和倉温泉 加賀屋

錦小路

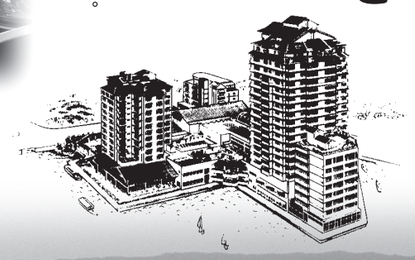
ラウンジ「飛天」

能登半島国定公園・和倉温泉
国際観光ホテル整備法 登録旅館（登旅第177号）
加賀屋
石川県七尾市和倉温泉 ●〒926-0192 ●☎大代表（0767）62-1111
●FAX（0767）62-1121 ●インターネット http://www.kagaya.co.jp/
加賀屋予約センター ☎（0767）62-4111
●東　京 ☎（03）3434-5500　●名古屋 ☎（052）571-4421
●大　阪 ☎（06）6351-1500　●新　潟 ☎（0258）29-2252

日本海産のずわい蟹に甘えび、美味しい旬の赤がそろいました。
加賀屋ならではの会席料理でお楽しみください。

冬の特選ご宿泊プラン
「真っ赤な旬を召し上がれ」
◆詳しくは、加賀屋ホームページ、または、加賀屋予約センターまでお問い合わせください。

和倉の浦より謹んで
新年のお慶びを
申し上げます。



加賀屋携帯サイト
加賀屋　検索
http://www.kagaya.co.jp/